



タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3471		
科目名	情報法		
担当教員	小向 太郎		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 2		
講義室	オンライン	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・法学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能]専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる DP4-F[探求力・課題解決力]問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識－10％ E1学識と専門技能－30％ F1探求と論拠－10％ G1状況把握－10％ H1論理的思考－20％ I3情報分析－20％		
教員の実務経験	情報通信分野のシンクタンクで長年に渡り法制度研究や政策提言に携わった経験を踏まえ、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します（第1回～第15回）。		
成績ターゲット区分	3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	インターネットやメディアの情報に関する法律には様々なものがあり、例えばIT基本法、サイバーセキュリティ基本法、個人情報保護法、通信傍受法、電子契約法、電子署名法、プロバイダ責任制限法など多岐にわたります。また、著作権等の知的財産権やプライバシー侵害、有害情報など、情報に関する社会問題が増大している。情報法とは、こうした情報やメディアに関連する法律分野であり、これらをめぐる様々な問題と法律について考察します。情報に関する社会問題が広がりを見せるなかで、これらの侵害行為に対する規制のあり方についても取り上げ、情報法についての基本的知識の習得を目標とする。授業形態は講義により行います。 なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにオンライン授業取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。 （キーワード）・インターネット ・情報セキュリティ ・サイバー法		
授業の趣旨	■ 副題 デジタル・ネットワークの発展と法制度 ■ 授業の目的 コンピュータネットワークの発展によって、なぜ従来の法制度では十分に社会秩序の維持や人権の保障が難しくなっているのか、どのような対応をすることが考えられるのか、について学ぶ。 ■ 授業のポイント インターネットや携帯電話の急速な普及は、人々のコミュニケーションを大きく変えつつあ		

	る。インターネットやスマートホンがない生活は、とても考えられないという人も多いであろう。コンピュータ・ネットワークがなくてはならないものになる一方で、ネットを使った詐欺、電子掲示板での誹謗中傷、著作権侵害、青少年有害情報の氾濫、個人情報の大規模な流出、コンピュータウィルスの大量頒布など、以前にはあまりみられなかった問題も深刻になっています。どうしてこのような悪質な行為が取り締まられないのか、常々疑問に思っている人も多いのではないのでしょうか。この講義では、これら問題がどうして生じるのか、法律上はどのように位置づけられているのか、問題を解決するためにどのような取り組みがされているのか、といったことを中心に検討していきます。デジタル化やネットワークの発展が社会や法制度にどのような影響を与えているかという観点から、情報法に関する基本的な知識を身につけ、その上で、デジタル・ネットワークの法律問題を論理的に分析し、問題の所在と課題への対処のあり方について、自ら説明できるだけの能力を身につけることを目的とします。	
総合到達目標	■受講者が、デジタル・ネットワークの発展によってどのような問題がなぜ生じるのかについて基本的な知識を習得し、問題とそれへの対処のあり方について、自分なりの視点から論ずることができるようになる。 ・情報法について考える基礎的な知識を身につけ、その知識を前提として情報法に関する課題について考えられるようになる（第1回～第8回）。 ・情報法に関する個別テーマについて、主要な論点を理解し、それぞれの論点について自分なりの立場から論ずることが出来るようになる（第9回～第15回）。	
成績評価方法	■授業内のレポート：2回（50%） （評価の観点）講義内容を踏まえ、与えられた設問に対して、的確かつ論理的に答えているかどうかを評価します。 適用ルーブリック：C1（10%）、E1（30%）、F1（10%）、G1（10%）、H1（20%）、I3（20%） （フィードバックの方法）授業中またはポータル等で説明します ■ミニレポート（レポート形式によるリアクションペーパー）：15回（50%） （評価の観点）講義内容を理解し、的確かつに回答しているかどうかを評価します。 適用ルーブリック：C1（10%）、E1（30%）、F1（10%）、G1（10%）、H1（20%）、I3（20%） （フィードバックの方法）授業中またはポータル等で説明します	
履修条件	特にありません	
履修上の注意点	特にありません	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、評価方法と、情報法の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする（適用ルーブリック C1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。シラバスの内容をよく読み、教科書を入手して「はじめに」と各章冒頭にある導入説明（各1ページ）を読む。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
	2	①授業テーマ 情報のデジタル化が法律に与える影響 ②授業概要 現代の情報法において重要な意味を持つ情報のデジタル化について学習する。デジタル情報にはどのような特徴があり、情報のデジタル化は法制度にどのような影響を与えるかを学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリック C1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、デジタル化の特徴とその法制度への影響について、自分なりの説明をまとめる。
	3	①授業テーマ インターネットと法律・制度 ②授業概要

	インターネットの普及が法制度にどのような影響を与えているか、また、インターネットは匿名であるといわれることがあるが、どのような意味で匿名なのかについて学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリック－C1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。レポート課題①を提示する。担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、インターネットの特徴とその法制度への影響について、自分なりの説明をまとめる。
4	①授業テーマ インターネット規制と表現の自由 ②授業概要 インターネット上で行われる情報発信に対して法的な規制を行うべきかどうかということとは、インターネットの黎明期から議論されている。メディアとしてのインターネットの特徴と、表現の自由の関係について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリック－C1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、インターネット規制と表現の自由について、自分なりの説明をまとめる。
5	①授業テーマ 情報化関連政策 ②授業概要 コンピュータ・ネットワークにおける問題を解決し、情報利用を促進させるために、政府や法律は何ができるかについて学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリック－C1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報化関連政策のあり方について、政府や法律は何ができるて何をすべきなのかについて、自分なりの説明をまとめる。
6	①授業テーマ 情報課と知的財産制度 ②授業概要 情報化と知的財産権制度について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルーブリック－C1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報化関連政策のあり方について、政府や法律は何ができるて何をすべきなのかについて、自分なりの説明をまとめる。
7	①授業テーマ 情報の取得・保有 ②授業概要 情報の取り扱いに起因する法的責任にはどのようなものがあるのかについて学び、特に情報の取得や保有に関して責任が問われるのはどのような場合かについて、受講者が説明できるようにする（適用ルーブリック－C1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分）

	教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報取得や情報保有に関する法的責任の課題について考え、情報の取得や保有に関して責任が問われるのはどのような場合かについて、自分なりの説明をまとめる。
8	①授業テーマ 前半のまとめと質疑応答 ②授業概要 第7回までの授業で学んだ内容について質問や意見を受け付けそれに対する回答を行うとともに、前半の授業に関する補足とまとめを行う（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、自分の疑問点が解決したかどうか、新たな疑問が生じていないかどうかを考察する。
9	①授業テーマ 情報発信と権利侵害 ②授業概要 情報発信による権利侵害の代表である名誉毀損やプライバシー侵害について、情報のデジタル化やインターネットの普及によってどのような変化が生じているかを学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報発信による法的責任の課題について考え、情報のデジタル化やインターネットの普及によってどのような変化が生じているかについて、自分なりの説明をまとめる。
10	①授業テーマ インターネットと青少年保護 ②授業概要 インターネットにおける青少年保護について、問題とされている情報や保護のための対策・制度について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、インターネットと青少年保護について考え、情報のデジタル化やインターネットの普及によってどのような変化が生じているかについて、自分なりの説明をまとめる。
11	①授業テーマ 情報化とプライバシー・個人情報保護 ②授業概要 情報化の進展にともなうプライバシーや個人情報保護に関する議論の動向と、コンピュータ技術やネットワークの発展によって個人情報保護の必要性が高まるのはなぜかを学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書の「3-4-1 プライバシーと個人情報保護」を読み、プライバシーと個人情報保護の違いについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、情報化と個人情報保護について考え、コンピュータ技術やネットワークの発展によって個人情報保護の必要性が高まるのはなぜかについて、自分なりの説明をまとめる。

	12 ①授業テーマ 個人情報保護法の概要 ②授業概要 わが国の個人情報保護法の概要について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、個人情報保護法の特徴について、自分なりの説明をまとめる。
	13 ①授業テーマ 個人情報保護制度の課題 ②授業概要 個人情報保護制度に関する最新の動向や、わが国の個人情報保護法の課題について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、個人情報保護制度の課題について、自分なりの説明をまとめる。
	14 ①授業テーマ サイバー犯罪 ②授業概要 インターネット上で行われる犯罪にはどのようなものがあるのかを知り、関連する法制度や国境を超えて行われる犯罪に関する課題について学び、受講者がそれについて説明できるようにする（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 教科書および指定参考文献を読み、テーマについて考察する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認して、サイバー犯罪対応の課題について考え、サイバー犯罪対策の今後のあり方について、自分なりの説明をまとめる。
	15 ①授業テーマ まとめ ②授業概要 14回の授業で学習したことを総括し情報法に関するまとめを行う（適用ルブリッカーC1：10%、E1：30%、F1：10%、G1：10%、H1：20%、I3：20%）。 担当教員の実務経験を踏まえて、デジタル化・ネットワーク化・グローバル化等の観点から、情報法の現実的課題を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成します。 ③予習（120分） 講義ノート全体と教科書の該当部分（講義で取り上げた部分）を読みなおし、各回のテーマについて自分の考えをもとに論じられるように準備する。 ④復習（120分） 授業の内容を振り返り、自分の考えを再検証するとともに、今後の学習方針を考える。
関連科目	情報管理論（RMGT 3571）
教科書	小向太郎『情報法入門（第5版）デジタル・ネットワークの法律』（NTT出版、2020年）
参考書・参考URL	必要に応じて講義中に指示します。
連絡先・オフィスアワー	（連絡先）開講時に指示します。 （オフィスアワー）質問や相談には、メールで適宜対応します。
研究比率	災害マネジメント10%：パブリックセーフティ10%：グローバルセーフティ10%：情報セキュリティ70% 危機管理学30%：法学70%



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.